



情報通

2012.June 6月号

発行：東京税理士会 情報システム委員会
 題字：神津 信一 (四谷)
 (税理士会員章の日輪と八重桜をイメージしています。)

税理士情報フォーラム2012開催決定! 知って得する情報管理

—新日税連ICカードはこう使う—

開催日：平成24年9月7日(金) 午前10時～午後5時
 場所：東京税理士会館

イベント・展示 (予定)

- ・税理士事務所の情報管理
- ・日税連新ICカードの更新方法・更新サポート
- ・番号制度について
- ・ウィンドウズ8で何が変わったか
- ・復旧・復興支援制度情報
- ・台湾電子政府視察報告etc.

各支部 電子申告推進委員にご協力を!

5月10日、電子申告推進委員ブロックリーダーと当番支部支部長との合同会議が開催され、神津会長から、平成23年度ブロックリーダー8名に対し感謝状と記念品が授与されました。また、中でも支部会員の電子申告システム稼働の指導等に多大な功績があった新井ますみ委員(芝)には、電子申告推進最優秀賞が授与されました。なお、平成24年度のブロックリーダーは以下の方々に決定しました。電子申告推進委員は電子申告の全会員利用を目指し頑張っています。是非ご協力ください。

感謝状授与者 (平成23年度ブロックリーダー)

- 第1ブロック 新井ますみ (芝)
- 第2ブロック 中村通孝 (荏原)
- 第3ブロック 吉原敬三 (荻窪)
- 第4ブロック 住吉 真 (浅草)
- 第5ブロック 北山雅也 (北沢)
- 第6ブロック 伊藤貴徳 (豊島)
- 第7ブロック 島村 洋 (江東東)
- 第8ブロック 渡辺宏幸 (武蔵府中)

電子申告推進最優秀賞

新井ますみ (芝)

平成24年度ブロックリーダー

(○はブロック番号)

- ①居山範男 (神田)、②新井了一 (品川)、
- ③吉原敬三 (荻窪)、④森内康裕 (上野)、
- ⑤北山雅也 (北沢)、⑥伊藤貴徳 (豊島)、
- ⑦森田法隆 (江東東)、⑧渡辺宏幸 (武蔵府中)



最優秀賞の新井会員(左)と神津会長



日本税理士会連合会情報システム委員会
 東京税理士会情報システム委員会
 共 催 勉 強 会

感動を与える情報化社会の実現に向けて 一韓国と日本の国家情報化戦略の比較一

【講師紹介】

イーコーポレーションドットジェーピー代表取締役社長、青森市情報政策調整監(CIO補佐官)、佐賀県統括本部情報課情報企画監。

1962年ソウル市生まれ。1985年ソウル市公務員として3年間勤務。1989年来日し、3年間、日本の企業でプログラマーとして勤務。1993年 韓国に帰国し、ITベンチャーを設立。1997年に再び来日し、ITコンサルティング会社、イーコーポレーションドットジェーピー(株)を設立、代表取締役に就任。

2006年 青森市情報政策調整監に就任。2007年 早稲田大学大学院修了。2007年 佐賀県情報企画監に就任。2009年 総務省電子政府推進員に就任。

※主な著書に『電子政府のシナリオ』(時事通信社、2003年)、『行政改革に導く、電子政府・電子自治体への戦略』(時事通信社、2009年)など。

日時 平成24年6月28日(木) 午前11時～12時30分
 場所 東京税理士会館 2階会議室
 講師 廉 宗淳 (ヨム ジョンスン) 氏
 定員 200名
 対象 本会会員

事前申込制です。メール、お電話でお申し込みください。

e-mail: johosystem@tokyozeirishikai.or.jp

メールの件名を「共催勉強会申込」としてください。

記載事項 (①支部、②登録番号、③氏名)

TEL: 03-3356-4467 (東京税理士会事務局業務研修課)

なお、本勉強会は動画配信サイトUstreamを通じてライブ配信(生中継)されます。上記日時に、パソコンのブラウザで以下のアドレスにアクセスすることで、視聴可能です(iPad等、タブレットによる3G回線からの視聴は音声と映像が途切れる場合があります)。

http://www.ustream.tv/channel/josys2

今更考えるクラウドコンピューティング

～「いつでも、どこでも、だれとでも」情報のやり取りを可能にするサービスとは～

個人情報保護法が施行されて以来、各種情報の取扱いについていっそうの厳格さが求められるようになりました。税理士事務所でも秘匿性の高い関与先データの詰まったノートパソコンを持ち歩く場合、紛失等によるデータ流出には相当の注意を要します。ところが最近定着しつつあるクラウドコンピューティングを活用すると、持ち歩く端末に実際のデータを載せておく必要はなく、インターネット環境に繋がる通信端末とWebサイトの閲覧を可能にするブラウザが用意されていれば、作業に必要なシステムとデータは、インターネット上のデータ等の保管場所(=クラウド)に繋ぐことにより操作可能となります。自分のパソコンでなくても出先のパソコンからでもクラウドに接続することで「いつでも」、「どこでも」快適なコンピューティングが可能になるとともにデータ紛失のリスクが減るため情報流出の危険性は格段に減少します。税理士事務所のオフィスワークで多くの会員に利用されているDocuWorksを提供している富士ゼロックス社より昨年末に「Working Folder」というクラウドサービスが発表になりました。今回は、このサービスを例にクラウドコンピューティングの現状を実感できるよう同社の担当者より実際の利用場面を想定した解説記事をご提供いただきました。なお、本稿は、現在豊富に提供されているクラウドサービスの一つを例示するものであり、当該サービスの利用を推奨するものではありません。



ここでは「Working Folder」のサービスを使って税理士・会計事務所における業務効率向上を目的とした利用方法について解説いたします。

(サービスの特長)

- PCやスマートフォンだけではなく、複合機やDocuWorks Deskと連携することにより、紙と電子の文書が混在した業務フローを実現することができます。
- PCを使わずに、1) 受信したFAXを直接クラウドに転送、2) 予め設定されているメールアドレスにFAX到着を通知することができます。
- PCを使わずに、直接複合機の操作パネルから1) 紙文書をスキャンしてクラウドに格納、2) 格納されているDW文書、PDF文書を印刷させることが可能です。
- DocuWorks7.3をお使いであれば、DocuWorks Deskの連携フォルダーからドラッグ&ドロップでリンクフォルダー(サーバー)やユーザーフォルダー(ローカル)間での文書の移動・コピー操作が可能です。
- 「Working Folder」のiOS専用アプリであるDocuWorks Folder for iOSを使うことで、出先でもiPhoneやiPadでクラウドに保管されたDocuWorks文書をダウンロードし、閲覧、編集して再度クラウドに保管したり、メールに添付して送信したり、お近くの本サービス取扱いのコンビニ店舗のマルチコピー機でネットプリントを使って紙に印刷することが出来ます。
- お客様である顧問先様へ書類をメール添付で送付するよりも、クラウド上に事務所と顧問先様との共有フォルダーを設定し、文書を暗号化した通信で安全にやり取りが可能です。

それでは実際の活用シーンをご説明します。

1. 受信FAXを外出先で確認、必要な指示がしたい

最初はお客様から受信したFAXを至急、先生に確認してほしいというケースです。

Working Folderを使えば、複合機(機種は限定されます)からFAXをDocuWorks

文書に変換して直接クラウドに転送し、先生のメールアドレスに通知することが出来ます。先生が外出中でも、PCを持っていれば、メールを確認後、ブラウザで「Working Folder」内に保存されたDocuWorks文書をダウンロードし、閲覧、必要であれば編集加工、アップロードすることで、必要な指示をDocuWorks文書上に記録することが出来ます。先生がiPhone/iPad利用者であれば、



DocuWorks Folder for iOSを使って「Working Folder」から必要な書類をダウンロードし、DocuWorks Viewer Light for iOS V2.0で閲覧、マーカーペン機能での編集や、付箋を貼っての文字入力を介して、作業指示が簡単に出来ます。結論としてiPhone/iPadを持っていればPCがなくとも複合機で受信したFAXをクラウド経由で確認、編集して再度クラウドに格納し、FAXによる返信は所員に依頼する。所員がいない場合はネットプリントで取扱いコンビニ店舗のマルチコピー機でプリント、それを原稿としてFAX送信することになります。

2. 会計事務所とお客様の文書の授受をメール以上に安全に

次は顧問先様との仕訳帳のやり取り、月次の試算表の送付など文書の授受を行うケースです。

メール送受信については二点のリスクがあります。一つはメールアドレスを取り違えるケース、つまりA社に送るつもりがB社に送ってしまったという事故。二つ目はメールは基本的に暗号化されない形でインターネットを流れていきます。一般にはあまり意識されることはありませんが、インターネット上にはデータを盗み見されるリスクが常にあります。

クラウドと端末や複合機間の通信は暗号化されており、簡単には盗み見が出来ません。従ってメールよりはクラウドに保管して文書の授受を行うことがセキュリティ上では望ましいと言えます。

具体的にクラウドを使ってお客様と文書の授受を行う方法をご説明します。ここでは文書の公開機能を使います。必要な文書を選択し、先方のメールアドレスを指定して期限付きの公開設定が可能です。通知はメールにて行われます。

3. PCが使えなくてもクラウドが使えます

三つ目はPCの苦手な顧問先の社長との複合機を使った紙文書の業務フローです。

対象複合機に必要なソフトウェアをインストールすれば複合機から「Working Folder」に直接ログインが可能です。スキャンした文書を転送したり、受信したFAXを自動転送したり、保存されている文書を複合機から印刷することが出来ます。

PCの苦手なお客様を対象複合機があれば会計事務所が契約している「Working Folder」のドローワーにお客様を「制限ユーザー」として登録します。複合機の操作パネルに表示される「Working Folder」ボタンでログイン、紙の書類をスキャンしてクラウドに格納したり、必要な書類をプリントしたりとクラウドの機能を活用できます。

4. DocuWorks Deskでの活用

DocuWorksにDocuWorks 連携フォルダー for Working Folderをインストールすることで、DocuWorks DeskからWorking Folder内の文書の閲覧、ドラッグ&ドロップによるアップロード、ダウンロードなどクラウドを意識することなく使うことが出来ます。

Webブラウザでの操作と異なり、必要なファイルを一括でアップロードやダウンロードをすることができます。

以上、簡単ではありますが、「Working Folder」を使った税理士・会計事務所における業務フローをご説明しました。

「Working Folder」は冒頭で申し上げたとおりクラウドサービスですので、契約後は初期投資がなしで使用開始することが出来ます。また通信にSSLを使用していますので、安全なデータ保管庫としてお使いいただけます。

より、詳細な情報につきましては以下のホームページにてご確認ください。

Working Folder : <http://www.fujixerox.co.jp/solution/workingfolder/>

ネットプリント : <http://www.printing.ne.jp/>

TAINSセミナー開催のお知らせ

東京税理士会・一般社団法人日税連税法データベース東京事務所共催

日時 平成24年6月21日(木) 10時～13時(達人コース)
場所 東京税理士会館2階 会議室 定員 100名
講師 一般社団法人日税連税法データベース 朝倉 洋子・谷 信洋
※受講料は無料です

TAINSの税法データベースは、民間の営利企業ではなく、税理士が税理士のために作り上げた、税法に特化したデータベースです。数多くの情報が溢れている現在、情報公開法を駆使して開示された情報なども効率的に編集している税法データベースを、あなたの手で操作し、体験してみませんか?

Q1 : TAINSには、どんな情報が収録されているの?

A1 : はい。是非このセミナーに参加して実際に確かめてください。

Q2 : TAINSの使い方がよく分からないのですが……

A2 : はい。是非このセミナーに参加して質問してください。

Q3 : TAINSの検索で、途中で分からなくなったら、どうすればいいの?

A3 : はい。税法データベース編集室にお電話ください。ご案内します。

Q4 : 新しい情報が収録されたということは、どのように知らせてくれるの?

A4 : はい。毎週、木曜日にメールニュースが届きます。ホームページでも、毎月のTAINSだよりでも、お知らせしています。

■下記《受講申込書》にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

FAX : 03-3356-4469

※受講申込書記載事項等の個人情報は、当セミナーのみに利用いたします。

受講申込書

(氏名)	(所属支部)
	(登録番号)
(事務所所在地) 〒	
(TEL)	(FAX)
(e-mail)	

☆お問い合わせ先：東京税理士会 業務研修課 TEL 03-3356-4467

有効期限：
平成25年3月31日

あなたのも 必ず切れます ICカード… どうする?